



新任医師の紹介



医師 久松 いつみ

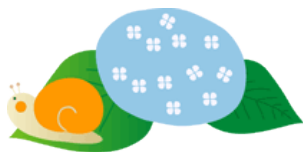
初めまして。久松 いつみ(ひさまつ いつみ)と申します。大阪で生まれ、京都で育ち、祖母のいる愛媛で大学生活を送って医学部卒業後は関西にまた戻ってきました。「家庭医」というものに憧れて高校生の時に 1 日医師体験をした時に中村先生と出会いました。そんな憧れの先生と働けることに何か運命的なものを感じています。



私は写真を撮ることが趣味で、この竜王という土地は私のカメラ欲を掻き立ててくれます。出勤途中に車を停めて、水田や麦畑、草花や虫や動物をファインダー越しに見つめる時間はとても至福の時間です。

また、両親の影響で俳句も少しばかり勉強中です。季節は初夏。麦に包まれたこの土地に合った一句を。

往診といふ道があり麦の秋 川上季石



みなさんとこの竜王という土地で、医師として、人として成長していきたいと思っております。少しでも私という存在があなたにとって価値あるものがありますように。これからどうぞよろしくお願いいたします。

医師 佐々木 加弥



はじめまして。佐々木 加弥(ささき かや)と申します。

2020 年 4 月から毎週水曜日、弓削メディカルクリニックに勤務させていただいております。普段は近江八幡市立総合医療センターで勤務させていただいております。

出生地は福島県いわき市で、宮城県や岩手県で育ちました。2010 年に岩手医科大学を卒業して、2013 年から同付属病院循環器内科で勤務し、2018 年 4 月から 2020 年 3 月まで大阪堺市の病院での勤務させていただきました。



人生初めての関西での生活で心配なことも多かったです。昨年は何回か漫才を見に行くことができ、関西に来たのだなとしみじみ思いました。

生まれ育った東北は過疎地域が多く、慢性的な医師不足が課題であり、将来は地域医療に携わっていきたくと思っています。



病気のみならず患者さんの心に寄り添いながら診療を行っていきたく思います。どうぞよろしくお願いいたします。

リブレ ～採血不要の血糖測定器～

看護師 宮井 由里子

糖尿病の治療薬であるインスリンを打っておられる患者さんは、当院でも100人以上いらっしゃいます。インスリンを打つ前に、血糖測定が必要です。ペンのような器具を使って指先を刺し、米粒の1/3くらいの血液を出し、センサーに吸わせます。5秒でその時の血糖値が機械に表示されます。1日1回の測定でもとても大変だと思いますが、多い人は4回測定する方もいらっしゃいます。



以前に腕時計のように手首に巻いて血糖値が判る機械が研究されている。と話がありました。消えました。

昨年9月からリブレが一部保険適応になりました。500円玉くらいの大きさのセンサーを腕に取り付け、携帯電話より一回り小さい器械をそれにかざすと、なんと血糖値がわかるのです！

一つのセンサーで2週間分の血糖値が記録され、クリニックに持参してもらおうと、かざしていない時間も含めて血糖値の変動がグラフで表示されます。リブレに変えてからHbA1cがみるみる低下した方もおられます。



500円玉くらいの大きさのセンサーの真ん中には歯ブラシのブラシ1本くらいの細かい電極が出ていて、皮膚の中の間質液（細胞を満たしている液）を感知して血糖値を計算して表示します。仕事で指先をよく使われる方にも、とてもうれしい機械だと思います。

います。

今年4月1日から強化インスリン療法を現在されている方、または以前に強化インスリン療法をされていて、今、混合型インスリンを1日2回打っている方も保険適応になりました。

興味のある方、私は対象者かな？と思われた方、遠慮なく看護師にご相談ください。



～お知らせ～

新型コロナウイルスに関して

風邪の症状がある方は窓口にてお伝えください。

感染防止の観点から、風邪の症状のある方は自宅またはお車等でお待ちいただく場合があります。ご協力よろしくお願いたします。

新型コロナウイルスの最新情報は厚生労働省ホームページを参考にしてください。



医師の不在のお知らせ

【外来医師の不在】

新型コロナウイルス対策として、医師の診療体制が大幅に変更されました。外来に出ている医師の人数が少なくなり、待ち時間が通常よりも長くなることを見込まれます。流行の状況により診療体制変更の期間が前後すると思われます。ご理解ご協力をよろしくお願い致します。

糖尿病教室・ウォークラリー中止のお知らせ

新型コロナウイルスの流行を踏まえ、7月の糖尿病教室及び10月に予定しておりましたウォークラリーは中止とさせていただきます。糖尿病教室の再開は未定です。決まり次第お知らせいたします。

